



EVRI 教育ビジョン研究センター

教育ビジョン研究センターは、By EVRI, For Everyoneを合言葉に、革新的な教育デザインの提案と社会貢献を使命とした研究拠点です。本拠点は、3つのユニット、6つのクラスターで構成されます。ロゴは、6つのクラスターが相互に作用しつづつ1つの研究拠点を形づくり、広島を起点に、地域の、日本の、そして世界の教育を創造していく姿を現します。

カンボジアにおける持続可能な社会構築のための社会科カリキュラム・教科書開発支援事業に協力しました(20)



活動日時 2019年9月24日(火) – 9月27日(金)

活動従事者 草原和博, 桑山尚司, 守谷富士彦 (教育研究推進員)



広島大学インキュベーション研究拠点「教育ビジョン研究センター (EVRI)」は、ひろしま平和貢献ネットワーク協議会 (提案自治体: 広島県) が受託したJICA草の根技術協力事業「カンボジアにおける持続可能な社会構築のための社会科カリキュラム・教科書開発支援」に専門家の派遣で協力しています。9月24-27日にEVRIメンバーの草原和博・桑山尚司・守谷富士彦がカンボジア現地で研修を実施しました。

本年度は、カンボジアの教育専門家の社会科カリキュラム・教科書の開発力を高めるために、研修成果を次世代に継承するマニュアルの作成を支援をしています。今回は、開発中のマニュアルの質向上に向けて、フォローアップ研修を実施しました。

24日には、7月の本邦研修参加者を中心に開発を進めてきたマニュアルの進捗報告会を催し、専門家からは書き方の工夫や追加すべき情報などについてコメントしました。

25日には、「カリキュラムづくり」(マニュアル第2章)の理論ワークショップを実施し、英国・米国・シンガポールの教科書目次の要素分析を通して、カリキュラムの大きな3類型を具体的に解説しました。

26日には、「改訂前の準備と、改訂原案のパイロット調査」(マニュアル第1章及び第4章)に関するワークショップを実施し、これまでのヒロシマ研修の活動を省察しながら、調査の内容、手順、目的と意義、注意点について整理しました。

27日には、研修参加者(抽出)と事業評価研修を行い、本事業を通して学び活用している知識・理論などの成果を確認しました。

カンボジアの教育関係者の間で、マニュアル開発の理念や意義を共有し、一体となって開発していく意識・体制が出来上がりつつあります。EVRIは引き続き関係機関と連携しながら、12月のマニュアル完成を目指し、本事業の支援を続けて参ります。



HIROSHIMA UNIVERSITY

教育ビジョン研究センター (EVRI)

739-8524

広島県東広島市鏡山一丁目1-1-1
広島大学大学院教育学研究科 気付

TEL/FAX : 082-424-5265

E-mail : evri-info@hiroshima-u.ac.jp

URL :

http://evri.hiroshima-u.ac.jp

EVRI HP/Facebook

